



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL <https://phoenixbio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	501	△39.8	△363	—	△336	—	△347	—
2020年3月期第3四半期	833	0.3	△200	—	△182	—	△184	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △378百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △187百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△108.00	—
2020年3月期第3四半期	△63.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,401	980	40.8
2020年3月期	2,784	1,161	41.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 980百万円 2020年3月期 1,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	992	△24.3	△300	—	△273	—	△284	—	△87.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,288,212株	2020年3月期	2,934,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	45株	2020年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,216,063株	2020年3月期3Q	2,929,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、景気は急速に悪化しました。政府による各種経済対策の効果もあり、一部持ち直しの動きが見られるものの、足元では感染が再拡大しており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO(開発業務受託機関)へ委託するケースが増えており、当社グループがターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の影響により、開発業務に遅延や変更等が生じております。

このような状況のもと、当社グループでは感染予防策を講じながら営業及び生産活動を行っており、世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス(当社製品名:PXBマウス)を用いた受託試験サービスを提供しております。

当社グループが注力しております海外市場は、新型コロナウイルスの感染が特に広がっている米国や欧州の一部地域において研究開発活動の停滞が長期化していることから、主要顧客である大手製薬企業からの受注が遅れており、海外売上高は前年同期を大きく下回りました。一方で国内市場は、2020年5月の緊急事態宣言解除後は徐々に顧客のラボ業務も動き出し、コロナ禍における新たな取り組みとして始めたWebセミナーによる潜在顧客の掘り起こしが受注に寄与した結果、国内売上高は前年同期を上回りました。また、損益面ではオンラインを中心とした営業活動への切り替えにより旅費交通費や広告宣伝費が減少したことや経費削減に努めたことにより、販売費及び一般管理費は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は501,205千円(前年同期比39.8%減)、営業損失は363,815千円(前年同期は営業損失200,036千円)、経常損失は336,905千円(前年同期は経常損失182,991千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は347,323千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失184,907千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,735,869千円となり、前連結会計年度末に比べ521,439千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が508,475千円減少したことによるものです。また固定資産は666,039千円となり、前連結会計年度末に比べ139,023千円増加いたしました。これは主に海外子会社でのPXBマウス生産設備拡張により、建物及び構築物が85,636千円、工具、器具及び備品が70,324千円、それぞれ増加したことによるものです。この結果、資産合計は2,401,908千円となり、前連結会計年度末に比べ382,416千円減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は447,385千円となり、前連結会計年度に比べ87,532千円減少いたしました。これは主に前受金が109,628千円増加した一方で、短期借入金が返済により200,000千円減少したことによるものです。また固定負債は973,745千円となり、前連結会計年度末に比べ113,817千円減少いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債が転換により100,000千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は1,421,130千円となり、前連結会計年度末に比べ201,349千円減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は980,777千円となり、前連結会計年度に比べ181,066千円減少いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換、新株予約権の行使等により資本金が98,862千円、資本剰余金が98,862千円、それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が347,323千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月12日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,775,429	1,266,954
売掛金	214,435	80,044
製品	48,722	49,887
仕掛品	79,942	205,087
原材料及び貯蔵品	94,412	89,155
その他	44,366	44,738
流動資産合計	2,257,308	1,735,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	113,055	198,691
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	45,419	115,743
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	6,999	11,805
使用権資産(純額)	39,083	31,273
建設仮勘定	7,418	—
有形固定資産合計	507,975	653,514
無形固定資産	2,861	2,356
投資その他の資産	16,179	10,168
固定資産合計	527,016	666,039
資産合計	2,784,325	2,401,908
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,734	46,898
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	20,004	7,482
未払法人税等	11,078	1,732
前受金	139,760	249,388
その他	135,340	141,884
流動負債合計	534,917	447,385
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	900,000
長期借入金	2,481	—
資産除去債務	3,140	3,189
その他	81,940	70,555
固定負債合計	1,087,562	973,745
負債合計	1,622,480	1,421,130

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,259,264	2,358,126
資本剰余金	479,173	578,035
利益剰余金	△1,558,471	△1,905,794
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,179,926	1,030,326
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,995	△50,308
その他の包括利益累計額合計	△18,995	△50,308
新株予約権	914	759
純資産合計	1,161,844	980,777
負債純資産合計	2,784,325	2,401,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	833,042	501,205
売上原価	283,059	213,896
売上総利益	549,983	287,308
販売費及び一般管理費	750,020	651,123
営業損失(△)	△200,036	△363,815
営業外収益		
受取利息	673	1,014
為替差益	—	1,747
補助金収入	13,679	9,105
受取保険金	—	14,374
受取負担金	3,703	—
その他	3,094	1,780
営業外収益合計	21,151	28,022
営業外費用		
支払利息	1,086	977
株式交付費	123	135
為替差損	2,895	—
営業外費用合計	4,105	1,113
経常損失(△)	△182,991	△336,905
特別損失		
固定資産除却損	109	0
特別損失合計	109	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△183,100	△336,905
法人税、住民税及び事業税	1,807	1,806
法人税等調整額	—	8,611
法人税等合計	1,807	10,417
四半期純損失(△)	△184,907	△347,323
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184,907	△347,323

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△184,907	△347,323
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,219	△31,312
その他の包括利益合計	△2,219	△31,312
四半期包括利益	△187,127	△378,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△187,127	△378,636

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使等により、資本金及び資本準備金はそれぞれ98,862千円増加しております

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,358,126千円、資本剰余金が578,035千円となっております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループでは北米を中心とした海外市場での事業拡大と生産体制の確立に努め、収益の改善に取り組んでまいります。海外売上高は過去3年間にわたり増加傾向にありますが、今後さらに売上を伸ばすため、コンソーシアム活動やCROとの業務提携により新規顧客開拓やPXBマウス、PXB-cellsの用途拡大を進めてまいります。同時に従来の受託試験サービスからPXBマウス販売へのシフトを進めることで、経営資源をマウス生産に集中し、収益基盤の安定化を目指してまいります。そのための体制として、海外生産拠点であるKMT Hepatech, Inc. 社において設備投資及び人材育成を進め、PXBマウスの供給能力を増強するとともに、生産の効率化によるコストの低減に取り組んでまいります。

資金面につきましては、2020年3月に株式会社ウィズ・パートナーズが業務執行組合員を務めるTHEケンコウFUTURE投資事業有限責任組合及び三和澱粉工業株式会社を割当先として、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行による1,000,000千円の資金調達を実施しており、必要な事業資金を確保しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。

4. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	68,638	8.3	76,870	15.3
	海外	240,026	28.8	85,345	17.0
安全性等分野	国内	101,893	12.2	143,708	28.7
	海外	422,484	50.7	195,281	39.0
合計		833,042	100.0	501,205	100.0

(2) サービス別受注高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	192,899	122,431	110,264	39,689
	海外	300,394	271,866	351,489	488,172
安全性等分野	国内	127,284	31,269	163,419	28,036
	海外	404,238	141,080	280,617	202,501
合計		1,024,817	566,648	905,791	758,399

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。